事業所における自己評価結果(公表)

公　表:　2025/6/4　放課後等デイサービス　事業所名:　ジャンプジャンプ緑ケ岡

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	66.7%	33.3%	0.0%	送迎や記録業務等を効率化し、支援に集中できる体制を意識している。	法定内で職員を配置しているが送迎業務で児童それぞれが親しんでいる職員が不在になる場合がある。児童のニーズに応じた時間帯別の職員配置を再確認し、必要に応じて柔軟な調整を行うことで、常に適切な支援体制を維持していく。
	③	バリアフリー化の配慮が適切か	100.0%	0.0%	0.0%		
業務改善	④	業務改善を進める為PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか［計画→実施→評価→改善⇒プラン］	66.7%	33.3%	0.0%	支援内容の見直しや業務の振り返りを職員間で定期的に行い、改善点の共有や実践につなげることを意識して取り組んでいる。	ミーティング等で全職員が目標設定や評価に関わる機会を増やし、チーム全体でPDCAを意識した業務改善を推進していく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑥	自己評価表の結果を、事業所の会報などでに公開しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50.0%	33.3%	16.7%	コンサルタントによる事業所の評価や業務改善などアドバイスをいただいている。	外部からの助言を日々の業務に十分に反映しきれていない場面もあるため、助言内容を職員間で共有し、実際の支援や運営に落とし込む体制を整えることで、継続的な業務改善につなげていく。
	⑧	職員の資質向上のために研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、サービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	66.7%	33.3%	0.0%	定期的に標準化されたアセスメントツールを用いて、子どもの適応行動の変化や成長を客観的に把握している。	ツールの評価が形式的になりやすく、支援内容との連動が不十分な場合があるため、評価結果を支援計画に的確に反映し、実際の支援場面で活かせるよう職員間での共有と振り返りの機会を定期的に設けていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100.0%	16.7%	0.0%		
	⑬	平日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑭	状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせてサービス計画を作成しているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	⑮	支援前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑯	支援後に職員間で必ず打ち合わせをし、その日の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑰	日々の支援に対して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%		

	⑱	定期的にモニタリングを行いサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	83.3%	16.7%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議に、子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	㉑	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0.0%	33.3%	66.7%	対象児童なし	
	㉓	利用していた園や児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	66.7%	16.7%	16.7%	以前通っていた園や児童発達支援事業所と、必要に応じて保護者の同意を得た上で情報共有を行い、児童の特性や支援の流れを把握しながらスムーズな支援につなげている。	情報共有の頻度や内容にばらつきがあるため、今後は移行時や支援計画の見直し時に意識的に連携を図り、支援の継続性と一貫性を高めていく。
	㉔	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉕	支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	66.7%	33.3%	0.0%	各職員が定期的に外部研修に参加し、支援に関する知識や技術の向上に努めている。最近では研修の機会も増えており、他の支援機関からの助言や情報を業務に活かせるよう取り組んでいる。	外部研修で得た知識や学びが個人の中で留まってしまうことがあり、現場全体への共有が不十分な場面も見られる。今後は職員間での情報共有の機会を設け、学んだ内容をチーム全体の実践につなげられるよう工夫していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	16.7%	0.0%	83.3%	現時点では放課後児童クラブや児童館との直接的な交流は行っていないが、障害の有無に関わらず子ども同士が自然に関われる機会の重要性を認識しており、今後の検討課題としている。	今後は地域資源とのつながりを深めながら、放課後の時間帯における他児との交流機会の可能性を探り、無理のない形で交流の場を設けていけるよう調整を図っていく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0.0%	50.0%	50.0%	現在は協議会や子育て会議等への参加は限定的だが、地域との連携強化の必要性を踏まえ、今後は積極的に参加していく方向で検討している。	地域の情報共有や支援ネットワークづくりに貢献できるよう、子ども部会や子育て会議等への継続的な参加体制を整え、連携強化を図る。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	50.0%	0.0%	50.0%	ペアレントトレーニングのような体系的な支援は実施していないが、保護者からの相談には随時対応し、子育てや関わり方について個別に助言を行っている。	職員が保護者支援に関する知識やスキルを身につけながら、相談対応の質を高め、子育てに寄り添った支援体制の強化を図っていく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉛	子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83.3%	16.7%	0.0%		
	㉜	保護者会等を開催する等、保護者同士の連携を支援しているか	0.0%	0.0%	100.0%	保護者会実施の予定はございません。	
	㉝	苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉞	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等情報を発信しているか	66.7%	16.7%	16.7%	紙での会報発行は極力行っていないが、ペーパーレスの方針に基づき、お知らせはLINEで、行事予定や出欠管理等は専用アプリを通じて保護者に随時発信している。	配信方法が複数に分かれているため、情報が届いていないと感じられることもある。今後は伝達手段を明確にし、必要な情報が確実に伝わるよう整理・案内の工夫を進めていく。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%		

	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㊲	地域に開かれた事業運営を図っているか	83.3%	16.7%	0.0%	現時点では町内会への加入にとどまっており、地域住民を招いた行事等は実施していないが、地域とのつながりを意識し、情報共有は行っている。	今後は地域のイベントや活動に積極的に参加し、地域との関係づくりを進めながら、事業所としても地域に開かれた運営を目指していく。
非常時等の対応	㊳	緊急時・防犯・感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、サービス計画に記載しているか	100.0%	33.3%	0.0%		
	㊷	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がなされているか	66.7%	33.3%	0.0%	医師の指示書が提出されている場合はその内容に基づき対応を徹底している。指示書がない場合でも、保護者からの聞き取りをもとに慎重に確認を行い、誤食防止のために職員間で情報を共有している。	指示書の提出について保護者への丁寧な説明を行い、確実な対応につなげるとともに、日々の支援の中でも再確認を徹底し、アレルギー対応の安全性を高めていく。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%		

○『はい』が70%を下回る項目について回答しております。
○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です